

# ラフウォータースイム・イン・鎌倉材木座

## 大会開催における安全対策について

ラフウォータースイム・イン・鎌倉材木座 実行委員会

### (1) 競技内容見直し

1)定員数の見直し:定員数を減らし、各スタッフの監視範囲を狭めることで、海上監視スタッフへの負担を軽減させる。

【対策】個人種目の定員数を 250 名から 200 名へ変更。

2)コースの見直し:コース範囲縮小により、監視スタッフがより密集してエリアを監視することで、事故や緊急事態に対する迅速な対応を図る。周回数を増やすことで陸上にて選手状態を確認する。

【対策】3km コース：片道 500m/往復 1km コースを 3 周回

1.6km コース：片道 400m/往復 800m コースを 2 周回

3)種目順番の見直し:比較的波が穏やかな早い時間帯に、海経験の浅い選手が参加する傾向がある距離の短い種目から開始することで、未熟な選手の事故やトラブルへのリスク低減を図る。

【対策】1.6km⇒3km⇒リレーの順で開催予定。

4)大会全体時間の見直し:1 日目の 800m 個人種目を廃止し、大会全体時間の短縮を図ることで海上監視スタッフの負担を軽減し、より集中的に監視を行う。

【対策】1 日目の大会時間を約 1 時間短縮。

### (2) 適切な救助体制の確率

1)資源の効率的な配置:救助艇やライフガードなどを適切に配置することで、緊急時の対応が迅速かつ効果的に行う。これにより、事故や緊急事態への対応が円滑化され、被害の最小限化が可能となる。

2)事前に計画された救助手順の策定:救助手順を事前に計画し、救助活動の効率性を向上させるだけでなく、混乱や遅延を防ぐ。適切な手順を確立させることで救助隊員や関係者は迅速に行動し、適切な措置を講じることができる。

3)安全意識の向上:救助体制が整備されていることを参加者や観客に伝えることで、安全意識の向上を図る。参加者が安心して競技に臨める環境を整える。

### (3) 選手の健康状態の確認

1)健康アンケートの提出:事前に配布する最終案内ハガキにて、体調や健康状態に関する健康チェックを行う。健康アンケートを受付時に提出してもらい、健康状態の確認を行うことで健康リスクを最小限に抑える。